

吉野復興大臣の復興フォーラム訪問ぶら下がり会見録

(平成30年2月17日(土) 12:50～12:55

於) 東京国際フォーラム)

1. 発言要旨

今日は東京都、そして、宮城県、岩手県、青森県、福島県の主催により復興応援・復興フォーラムが開催されました

1階では各県のうまいもの、物産等々ございまして、私もそこで試食をさせていただきました。村井知事の御案内で、宮城県のせり鍋というお吸い物なんですけど、根っこまで食べるお吸い物でございまして、本当においしく、体がぼかぼか温まりました。

また、カキ、これもおいしかったです。そういうところも拝見させていただきました。

また、自衛隊等々の皆さんが参加して、防災・減災の体験コーナーもございました。新聞紙でスリッパをつくる、そして、キッチンペーパーでマスクをつくる、そんな体験コーナーもございまして、これは本当に役に立つものなんだなということでございます。

そして、開会式で御挨拶をさせていただき、両知事のトークセッション、これも聞かせていただきました。

このイベントの一番の目的は、必ず災害はやってくる。防災をしなければならぬ、減災をしなければならぬ。そのためには、被害を経験した者として、きちんと風化させずに、その教訓をきちんと伝えていく、その伝えることが防災・減災に役立つんだ、というところが大事でございまして、そういう学びを今日はさせていただきます。

村井知事によれば、発信、発信、発信と、それしかないということでございます。福島県も、風化とそして風評、この二つの大きな風がございまして。風化はこういう形で発信をすることと、そして、風評もやっぱり福島県の食材は測って測って測りまくっているの、安心なんだよというところをきちんと知らしめていくこと、これが大事なんだな、そんな思いを今日はしたわけでありませう。

(以 上)